

平成 2 9 年度 既存建築物省エネ化推進事業
(省エネルギー性能の診断・表示に対する支援)

採択事業の普及に資する取り組み（様式 4－2）

番号	事業名	代表提案者
1	明和神宮ビル 省エネルギー性能の診断・表示事業	株式会社明和技術管理事務所
2	日本平ホテルオール電化建築物での B E L S 認証・P R 活動	株式会社日本平ホテル
3	ホテル観世省エネ性能表示事業	株式会社比那
4	深田電機株式会社本社ビル 省エネルギー性能診断・表示事業	深田電機株式会社
5	パッシブタウンの省エネルギー性能診断・表示	Y K K 株式会社

事業名	明和神宮ビル 省エネルギー性能の診断・表示事業	代表提案者	株式会社 明和技術管理事務所
取り組み 単位	■ 特定の建築物	1棟又は複数棟で実施	
	□ 特定の地域	街区・エリア単位など、複数棟でまとめて実施	
	□ 事業者単位	エリア限定なし(全国、所有物件)の複数棟にて実施	
	□ その他 (内容:	)	

■全体概要

本事業は、既存建築物（自社ビル）の省エネルギー化を行い、その効果を診断・表示する。この取組を多方面にPRすることにより、波及効果を高めCO2の発生を削減し地球温暖化予防対策に寄与する。

＜事業スケジュール＞

項 目	2017					2018		
	8	9	10	11	12	1	2	3
1. 書類の作成～審査～実施報告								
①応募・交付申請書類の作成								
②応募・交付申請書類の受理・審査								
③実施報告								
2. 事業の着手								
①事業内容の設計								
②省エネルギー性能の診断(省エネ計算)								
③事業費の積算								
④省エネ設備の取替え工事								
⑤省エネ性能の第三者評価の申請								
3. 普及に関する具体的な取り組み								
①BELS認証の表示プレート、楯の掲示								
②ハガキ等による認証結果の告知								
③自社ホームページへの掲載								
④社内勉強会の開催								
⑤自社建物の見学会と取組みの説明								
⑥BELS認証の名刺の作成と配布								
⑦電子メール署名欄を利用した認証結果を告知								

＜普及に関する具体的な取り組み内容＞

①BELS認証表示プレート及び楯を掲示（12月～）

BELS認証の結果をエントランスホール等に掲示して、来館者や地域に向けて積極的にPRを行う。

②ハガキにて診断・表示の結果を告知（12月～1月）

年賀状等で、関係取引企業へBELS診断・表示の状況を告知しPRする。

③自社ホームページへの掲載（12月～）

関係取引企業、同業者、学生に向けてBELS表示に対する取組みについて掲載し、普及推進に努める。

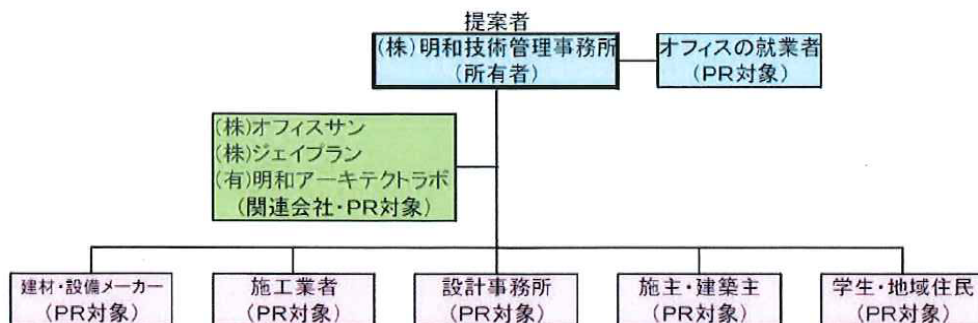
④社内勉強会の開催（12月～）

社員全員に向けて、省エネ性能表示に対する仕組み・方法・効果など判り易く説明し今後の業務に生かす。

⑤自社建物の見学会の開催（1月～）

会社訪問・インターンシップの学生に対して、建物見学会を行い省エネ性能表示に対する関心を高める。

■実施体制



事業名	日本平ホテルオール電化建築物でのBELS認証・PR活動	代表提案者	株式会社日本平ホテル
取り組み単位	☒ 特定の建築物	1棟又は複数棟で実施	
	☐ 特定の地域	街区・エリア単位など、複数棟でまとめて実施	
	☐ 事業者単位	エリア限定なし(全国、所有物件)の複数棟にて実施	
	☐ その他 (内容:	)	

■全体概要

1. ホテルエントランスにおける認証プレートの掲示

事業スケジュール：BELS認証取得後、遅滞なく実施する

取り組みイメージ：エントランスカウンターの見やすい位置に設置する（右図はイメージ）


2. 公式ホームページにおけるBELS認証の掲載

事業スケジュール：BELS認証取得後、遅滞なく実施する

取り組みイメージ：トップページの分かりやすい位置に掲載する（右図はイメージ）


3. 社内研修会によるBELSに関する情報共有

事業スケジュール：月次の運営会議等にて実施する（年12回）

取り組みイメージ：BELS制度の紹介や省エネの重要性等について情報共有する（右図はイメージ）



■実施体制 . . . 実線枠は定量的にその効果が期待できるPR対象
点線枠は定性的にその効果が期待できるPR対象

提案者

 建築主（所有者）

→

PR対象

ホテル来場者

ホームページ閲覧者

社内研修会参加者

建設業界誌の購読者

→

PR対象

 ホテル来場者の
所属企業の従業員



参考：ホテルの全景

事業名	ホテル観世省エネ性能表示事業	代表提案者	株式会社 比那
取り組み 単位	■ 特定の建築物	1棟又は複数棟で実施	
	□ 特定の地域	街区・エリア単位など、複数棟でまとめて実施	
	□ 事業者単位	エリア限定なし(全国、所有物件)の複数棟にて実施	
	□ その他 (内容:	)	

■全体概要

平成24年度建築物省エネ改修緊急支援事業で空調、給湯設備更新及び最上階天井内断熱を実施した築30年、延べ床面積2000㎡弱の地方のビジネスホテルです。その事業に前後してロビー・客室等の照明LED化、補助金対象外の空調機の更新及び客室シャワー水栓の節湯器具への更新を行ってきました。36条基準適合認定が得られる事になれば、既存の中小建築物であっても地道な省エネ更新を積み重ねる事で、取得できる証となります。また、それをPRする事で、省エネ表示の普及に及ぼす効果は大きいと思われます。具体的な取り組みは下記の通りです。

1. 省エネ認定表示プレートの設置 (2018年1月～)
フロントに性能表示プレート (eマーク) を設置し宿泊者や会合出席者に向けてPRを行う。
2. ホームページに36条認定を掲載 (2018年1月～)
客室検索などでの、ホームページ及び宿泊サイト閲覧者に向けたPRを行う。
3. 組合、協会等で取り組みをPR (2018年1月～)
ホテル・旅館組合、飲食組合、観光協会、商工会議所 (すべて袋井市) の会合にてeマーク取得とそのメリットを報告。



■実施体制

提案者



事業名	深田電機株式会社本社ビル 省エネルギー性能診断・表示事業	代表提案者	深田電機株式会社
取り組み単位	☒ 特定の建築物	1棟又は複数棟で実施	
	☐ 特定の地域	街区・エリア単位など、複数棟でまとめて実施	
	☐ 事業者単位	エリア限定なし(全国、所有物件)の複数棟にて実施	
	☐ その他 (内容:	)	

■全体概要

深田電機株式会社はBELS認証を取得し周知することで、弊社が取り扱う省エネ商材を使用した建築物の省エネ化を推進するアピールツールの一つとして位置づけます。省エネ商材の積極的な提案材料の一例として、省エネ性能表示の弊社事例を提示することで、弊社の既存顧客・新規顧客に対する省エネ性能表示の啓蒙に取り組んでいきたいと考えています。

本補助事業に対しては、大枠で3つの取り組みを行うため、本書式は3枚つづりと致します。以下の取り組みの前提として、本補助金の採択を受け、2か月程度で評価を受ける予定とします。評価の内容を受けて取り組みを進めていく計画です。

■取組① 弊社の定期発行物「FKDニュース」へのBELS認証取得記事を掲載

弊社の定期発行物「FKDニュース」に弊社の取り組み事例として、BELS特集記事を掲載し請求書への同梱によって弊社顧客の1,200社へ配付します。BELSの申請作業から取得までに渡って掲載することで、弊社顧客への省エネ性能表示に対する理解が一層深まることを見込まれます。

また営業スタッフが請求書に同梱された後、再度当該紙面を持って営業に回るので、掲載した情報に対するお客様からの質問内容などを持ち帰って、さらに詳しい説明を行うことも可能。

「FKDニュース」はこうした営業と顧客のコミュニケーションツールとしても設計しているので、「省エネ性能表示」を自然に話題にすることができ、弊社顧客への普及、さらにその先のエンドユーザーにまで普及の効果を期待することができます。また取り組みの④にも明記しますが、上記を配付する事前に弊社営業スタッフには十分な学習の機会を設けて、顧客に対する情報提供の態勢に余念がないようにします。



■実施体制①



事業名	深田電機株式会社本社ビル 省エネルギー性能診断・表示事業	代表提案者	深田電機株式会社
取り組み単位	■ 特定の建築物	1棟又は複数棟で実施	
	□ 特定の地域	街区・エリア単位など、複数棟でまとめて実施	
	□ 事業者単位	エリア限定なし(全国、所有物件)の複数棟にて実施	
	□ その他 (内容:	)	

■取組② 弊社の本社ビル及び各営業所にBELS認証プレートの設置

BELS認証を取得した後、本社ビル用に屋内プレート1セットと室内用カウンター置きプレートを1セット作成。作成したプレートを本社ビルではビルエントランスとカウンターに設置する。銀行やメーカーはエントランスから出入りし、取引業者・顧客等は受付カウンターから出入りするので、来訪者に漏れなくBELS取得を周知することができる。またその他営業所を含めた全営業所にBEL取得の告知広告を作成し掲示するとともにカウンターにはBELSの概要を説明したリーフレット(A4)も設置し、全営業所でBELSとは何かを分かりやすく説明、取得のPRをできるようにする。

営業スタッフを含め、受付スタッフにもBELSの概要を研修にて理解させ、プレートを見た方からの質問に答えられるようにする。

■実施体制②



本社エントランス

屋内用プレート掲示



(銀行・メーカー等が出入り)

本社カウンター

室内カウンター置き掲示



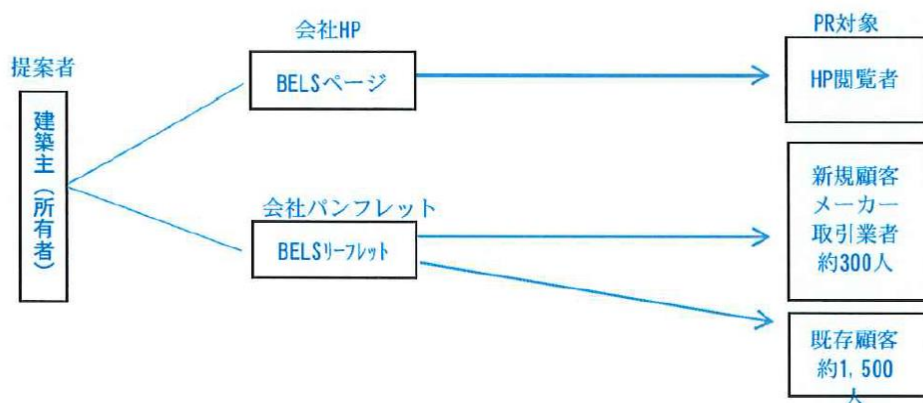
(取引業者・顧客等が出入り)

事業名	深田電機株式会社本社ビル 省エネルギー性能診断・表示事業	代表提案者	深田電機株式会社
取り組み単位	■ 特定の建築物	1棟又は複数棟で実施	
	□ 特定の地域	街区・エリア単位など、複数棟でまとめて実施	
	□ 事業者単位	エリア限定なし(全国、所有物件)の複数棟にて実施	
	□ その他 (内容:	)	

■取組③ 弊社ホームページのバナー設置と会社パンフレット用リーフレットの活用

BELS認証を取得した後、弊社HPに「環境への取り組み」のバナーを設置し、リンク先でBELSの概要説明、弊社のBELS取得報告を行うようにする。また国土交通省のBELS関連のリンクも載せて詳細まで確認できるようにする。
また現在営業用に使っている会社パンフレットに挟み込みタイプのリーフレット(A4)を作成のうえ追加し、新規営業先やセミナー開催の際にBELSの概要や弊社の取り組みをPRできるようにする。
また既存の取引先に対してもリーフレットを単独で配付することによりPRを行う。

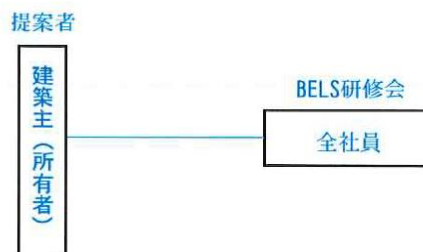
■実施体制③



■取組④ 全社にてBELS研修

弊社の全社にてBELSの理解研修を実施。全社員87名がBELSを理解し、事務スタッフは来客へ、営業スタッフは営業先へしっかりとBELSを説明・PRできる体制を作る。

■実施体制④



事業名	パッシブタウンの省エネルギー性能診断・表示	代表提案者	YKK株式会社
取り組み 単位	☐ 特定の建築物	1棟又は複数棟で実施	
	☒ 特定の地域	街区・エリア単位など、複数棟でまとめて実施	
	☐ 事業者単位	エリア限定なし(全国、所有物件)の複数棟にて実施	
	☐ その他（内容:	)	

■全体概要

以下のような活動を通して普及を行う。

①BELSプレートの設置（2018年1月）

パッシブタウン第3期街区1Fに設置されたインフォメーションセンターに、パッシブタウン第1期～第3期街区のBELSプレートを設置し、来館者にアピールする。

②ホームページでのPR（2018年1月）

パッシブタウンのホームページなどにBELS認証取得を表示すると共に、ニュースリリースで情報発信を行う。



インフォメーション
センター

③見学会、インフォメーションセンターでのPR活動（2018年1月）

これまでも見学会やインフォメーションセンターにて説明やパネルデジタルコンテンツを用いてパッシブタウンを紹介してきた。今後は、これまでの内容に加え、BELS認証取得をPRする。

黒部のパッシブタウン、前沢パッシブハウス 世界各国から55名が見学

パッシブハウス・アジア・カンファレンスのオプション見学会を開催

本日は、黒部市黒部地区の黒部パッシブタウンと、前沢市前沢地区の前沢パッシブハウスを訪れ、世界各国から55名の見学会を開催しました。見学会では、パッシブタウンの省エネルギー性能や、前沢パッシブハウスの省エネルギー性能について、説明を行いました。



見学会の様子を
取り上げた社内報

④パッシブデザイン評価委員会での報告（2017年10月）

東京理科大学、東京大学からの専門家とYKKが共同して、パッシブデザイン評価委員会を立ち上げ、実測と解析によるパッシブ性能の評価を行っており、BELS取得に向けた取り組みについて委員会の中で公表している。

■実施体制

